

**独立行政法人 日本学生支援機構**  
「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」

**地域資源と学寮を活用  
した人間力の育成**

**八戸工業高等専門学校**

# 独立行政法人 日本学生支援機構

「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」

## 「地域資源と学寮を活用した人間力の育成」

学生数 902名  
(女子159名)

教育寮: 北辰寮  
寮生 448名  
(女子 54名)



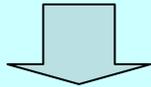
八戸工業高等専門学校

# 本申請の背景



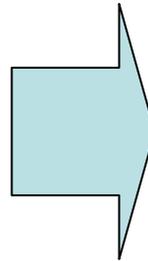
## 社会の変化

- ・少子化
- ・遊びの変化(テレビゲーム)
- ・対話の減少(携帯電話)



## 子供達

兄弟や友達と係わる機会の減少, 関係の希薄化



## 新たな社会的ニーズ

### 他者や社会との係わりの中で

- ・協調性
- ・責任感
- ・コミュニケーション能力
- ・思いやり, 我慢
- ・タフな精神力

などの**人間力**を育成することがこれまで以上に重要

# 本申請の背景

- 八戸高専の校訓：「誠実・進取・協調」
- 八戸高専の学習・教育目標：

項 目	目 標
A 豊かな人間性の涵養	国際的視野に立ち、地球環境や人類社会に及ぼす技術の影響を理解し、またその責任を自覚できる、誠実で健全な心身を養う。
B 工学知識・技術の修得	数学、自然科学の基礎知識と実験・測定技術および情報処理技術を修得し応用できる。
	得意とする専門分野の知識と技術を修得し、「連峰型教育」を活かした複合的専門知識も身につける。
C 地域社会への貢献	協調性を発揮し、技術を創造・開発またはシステム化できるデザイン能力とものづくり能力を修得する。
	北東北の重点課題であるエネルギー、環境の問題に関心を持ち、それらの課題に積極的に取り組む、進取の姿勢を身につける。
D コミュニケーション能力の習得	意思を明晰に相互伝達する日本語力と、国際社会に対応できる英語基礎力を身につける。

授業だけでは難しい「人間力」育成の強化を図る必要

# 本申請のキーワード

## 地域資源

ITER, 三沢ベース  
企業, OB

## 学寮

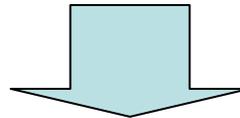
全寮制, 寺子屋  
寮母, 留学生

## 課外活動

部活動(運動部, 文化部)  
コンテスト

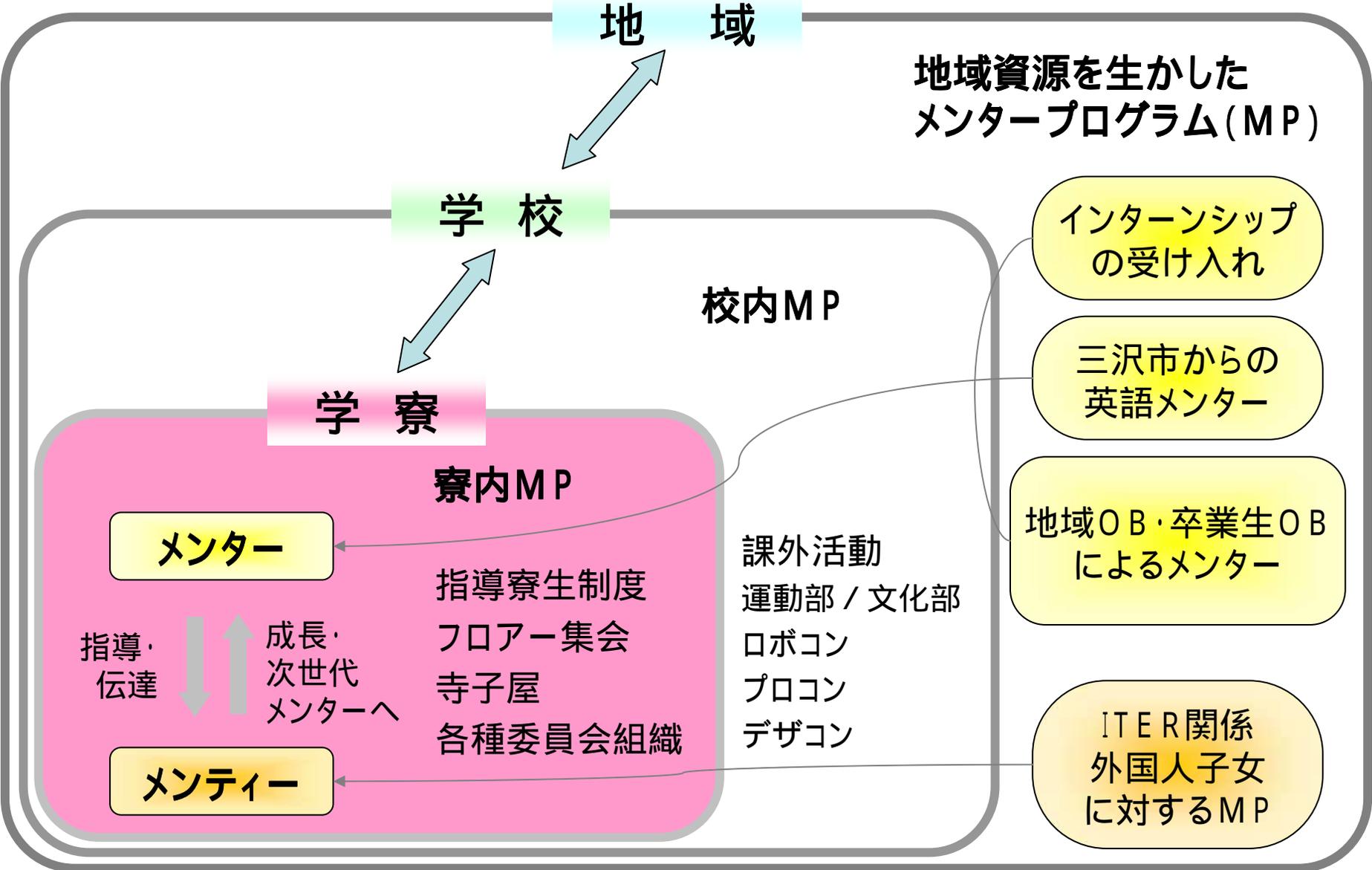
統合的な学生支援

## メンタープログラム



人間力の育成

# 地域資源と学寮を活用した人間力育成プログラム



# 学寮での取り組み

## 学寮及び寮生



**寺子屋**  
指導寮生による  
学習支援

**指導寮生**  
4～5年生

学習支援  
↓  
生活支援

**低学年寮生**  
1～3年生

健康管理支援

**新規**

精神面での  
相談・支援

国際化啓蒙

**新規**

職業人意識の涵養

**新規**

教育支援  
文化交流

**寮母**

看護師有資格者

**地域資源**

在留外国人  
本校卒業生  
地域の退職者等

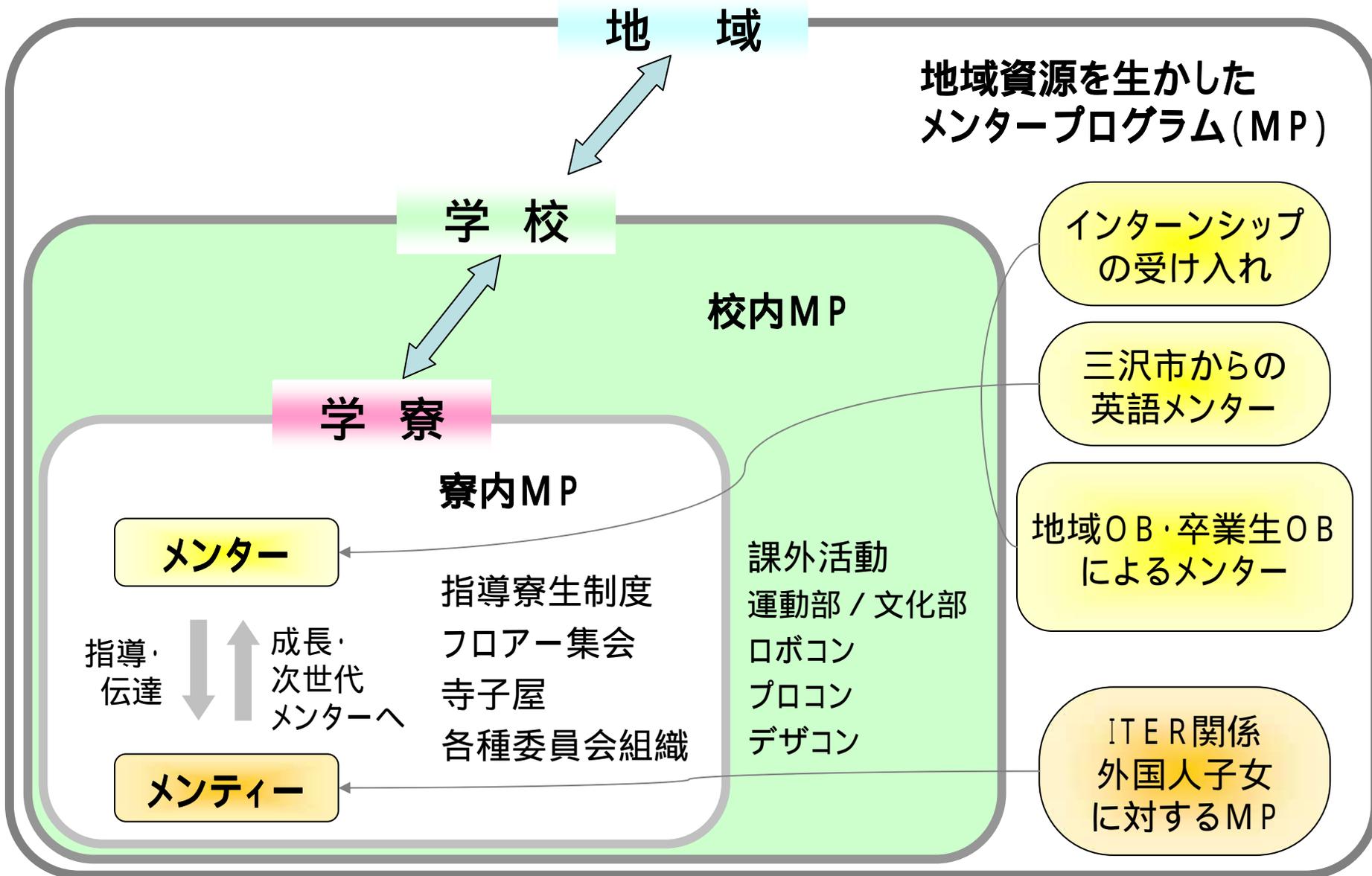
在留外国人子女

# 北辰寮：早朝歩きだめし(21km)



炊飯を楽しむ外国人留学生

# 地域資源と学寮を活用した人間力育成プログラム



# 保健室の利用状況



保健室(福利厚生会館)

保健室への来訪者 疾病処置とその他来室者		
年度	内的・外的 処置件数	来室者数
18	1903	2549
17	1767	2478
16	1688	2087

**常勤看護師1名では  
対応が限界！**

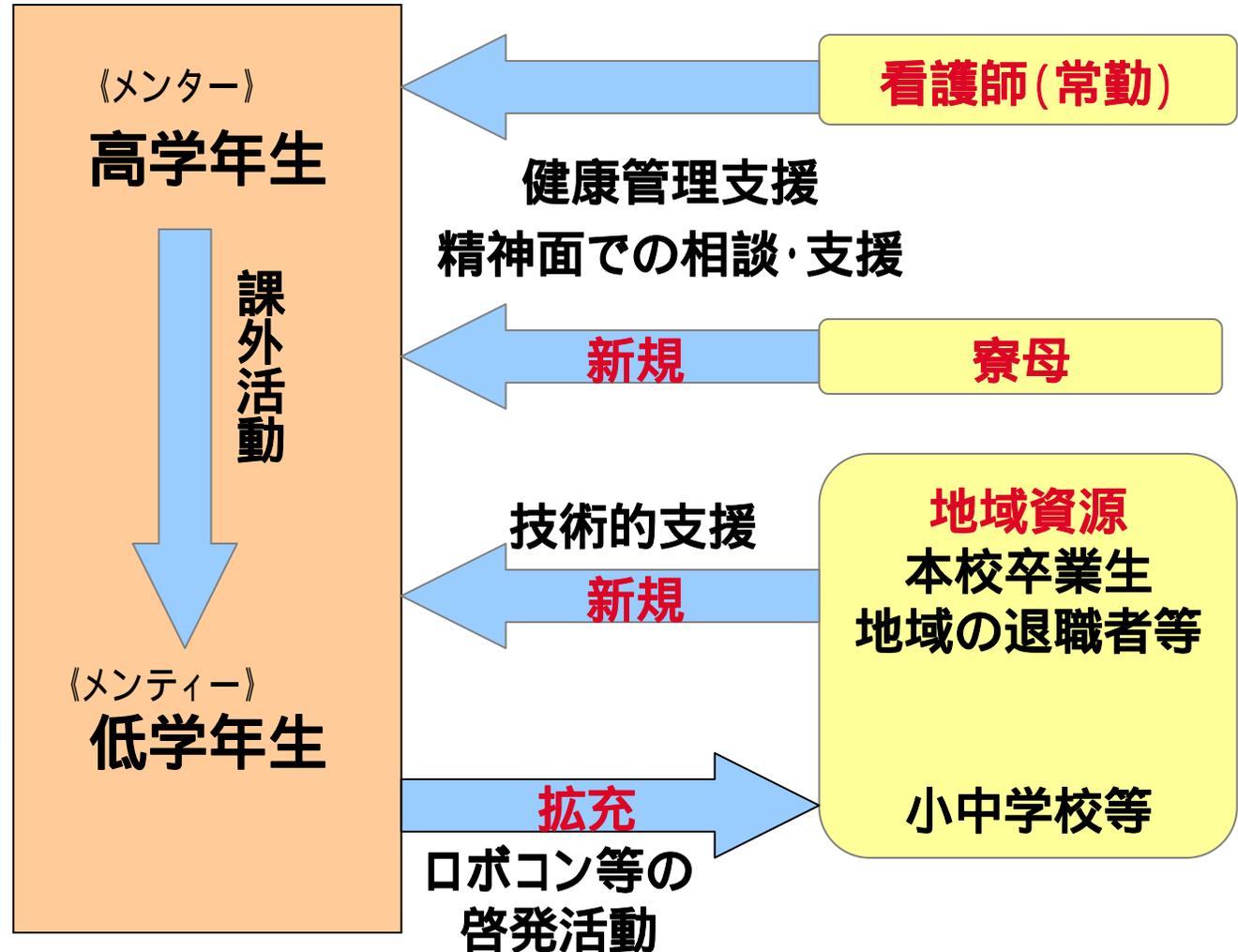
# 校内メンタープログラム (MP)



学生相談室主催の料理教室



ミニロボコンin田面木小学校



# 課外活動の支援

## 運動部 (19クラブ491名)



安全・安心

看護師・寮母による  
健康管理支援

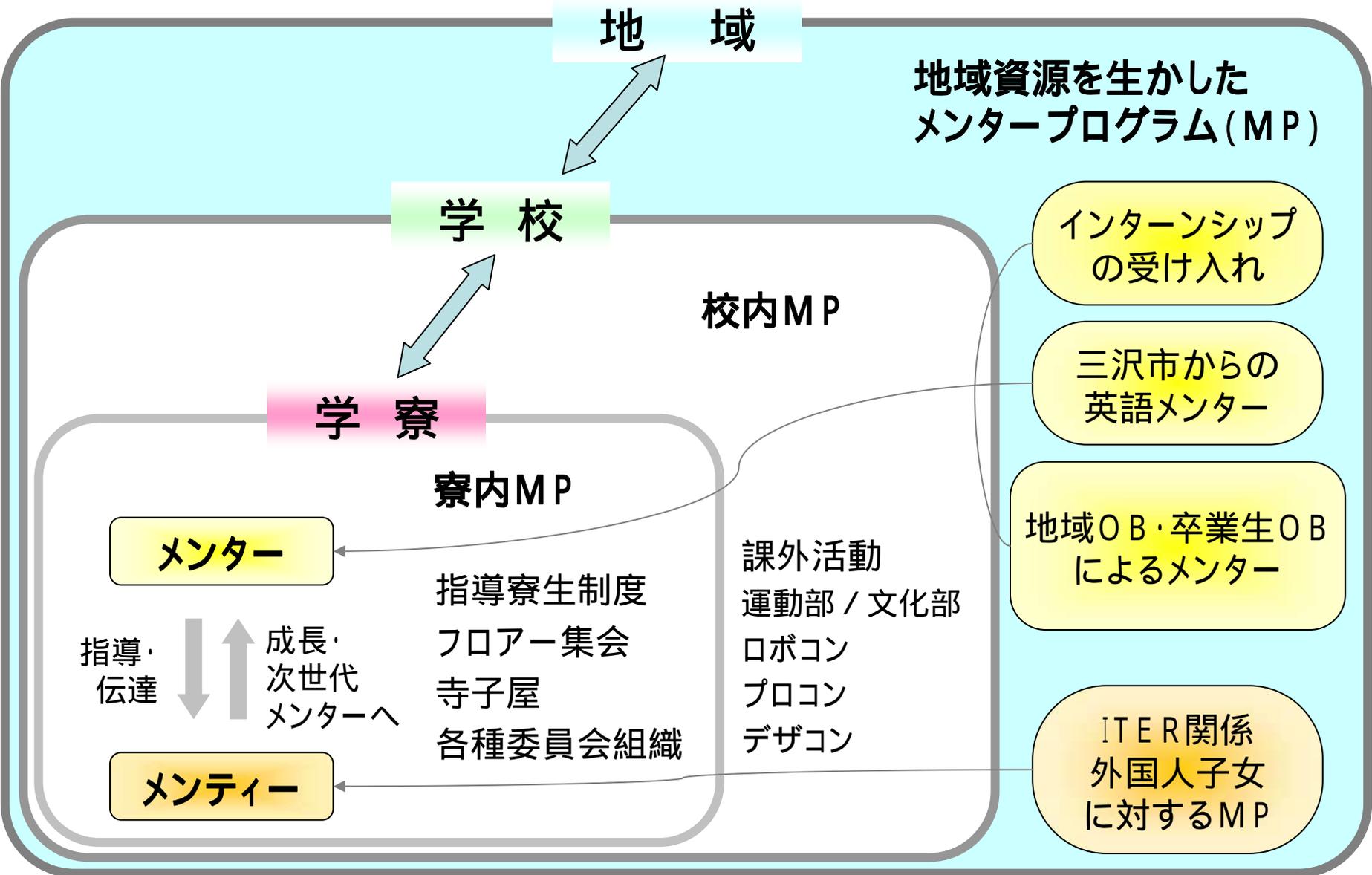
## 文化部 (10クラブ219名)



活性化

コンテスト参加クラブに対する  
物的・財政的支援

# 地域資源と学寮を活用した人間力育成プログラム



# 地域資源を活用したメンタープログラム

企業OBメンター

地域社会・企業

新規・拡充

インターンシップ  
企業退職者による技術伝承

研究者・子女メンター

ITER

新規

国際的エネルギー開発拠点  
(六ヶ所村等)との交流  
ITER関連子女の国際学校支援

八戸高専

英語・国際化支援メンター

三沢基地

新規・拡充

三沢ベース内の教育機関との交流

高専OBメンター

卒業生

新規

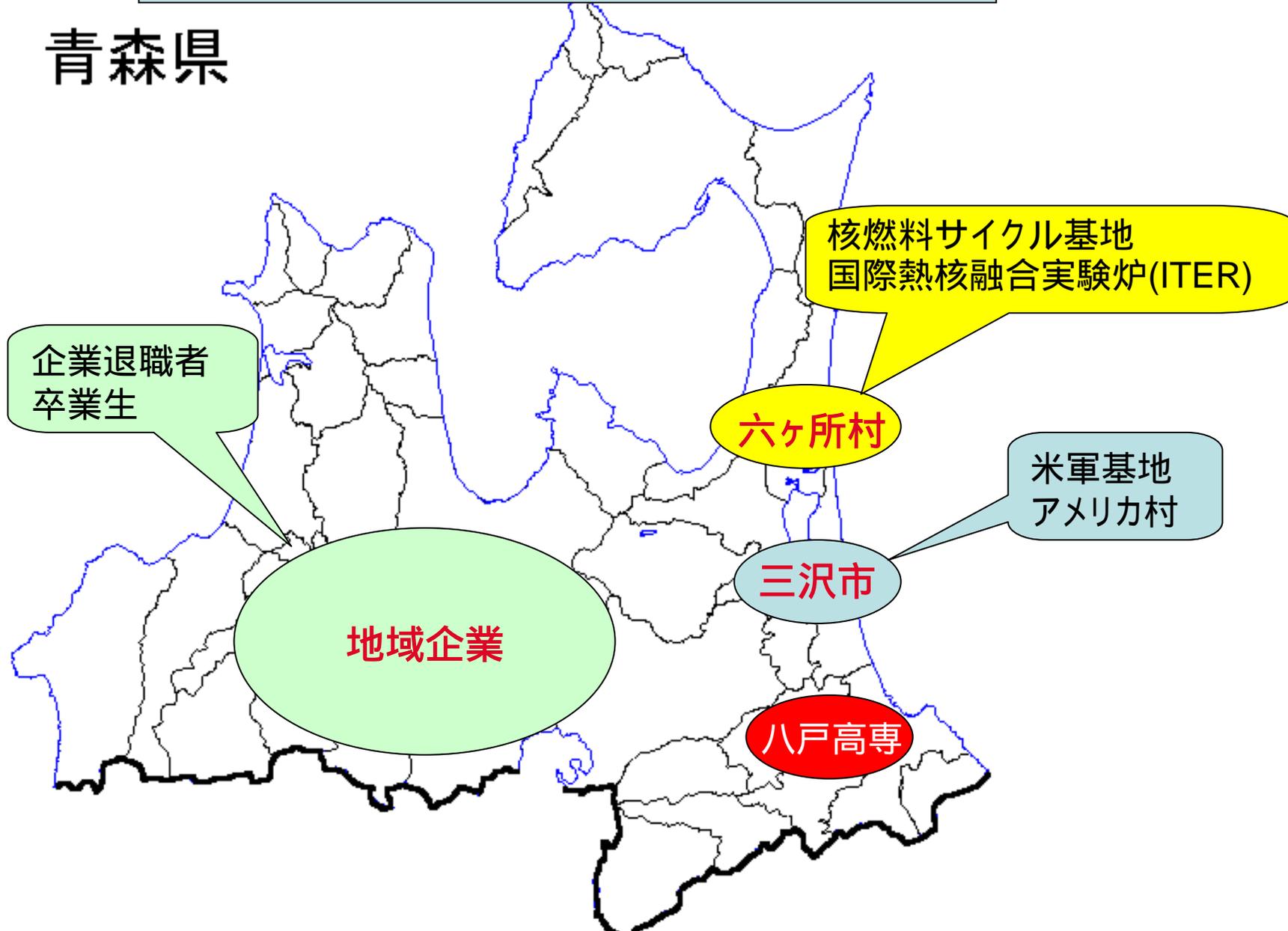
技術講習会・講演会  
就職相談・支援

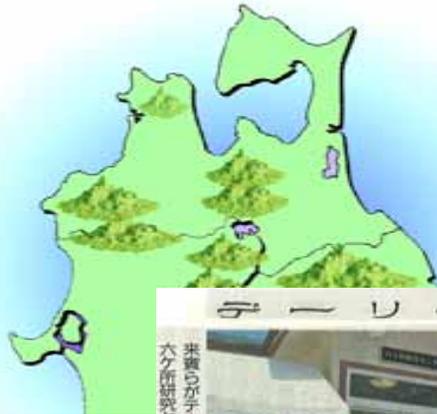


バスケット親善試合 (H15)

# 地域資源

青森県





2007年(平成19年)5月29日(火曜日)

# 国際学校開設含め議論

## 外国人研究者の 子供受け入れ 青森で検討委発足

六ヶ所村などで実施する国際熱核融合実験炉（ITER）の関連研究「幅広いアプローチ（A）」で、外国人研究者の子供を受け入れる学校などをどうするか考える

同委員会は県内外の教育関係者ら十二委員で構成。八日、高専の井口泰孝校長を委員長に選んだ。年内にあと四回の会合を開き、公立学校での受け入れなど並面の対応や、

委員会は県内外の教育関係者ら十二委員で構成。八日、高専の井口泰孝校長を委員長に選んだ。年内にあと四回の会合を開き、公立学校での受け入れなど並面の対応や、

を求めているのが聞かれた。「人数や年齢が分からない」と、検討は難しい。「地域がサポート態勢を整えてくれるかどうかも重要だ」となどの意見が出た。

デーリー東北

2007年(平成19年)5月29日(火曜日)

### ITER 関連研究

## 六ヶ所に核融合科学研究所施設

# 情報発信、連携支援へ

「核融合科学研究所六ヶ所研究センター」の開所式が二十八日、六ヶ所村総合公園の現場で行われた。同日は開所される国際熱核融合実験炉（ITER）の関連研究に関する情報を県内の大学や研究機関に発信し、共同研究や連携支援に乗り組む。



来賓らがテープカットして核融合科学研究所六ヶ所研究センター開所を祝った



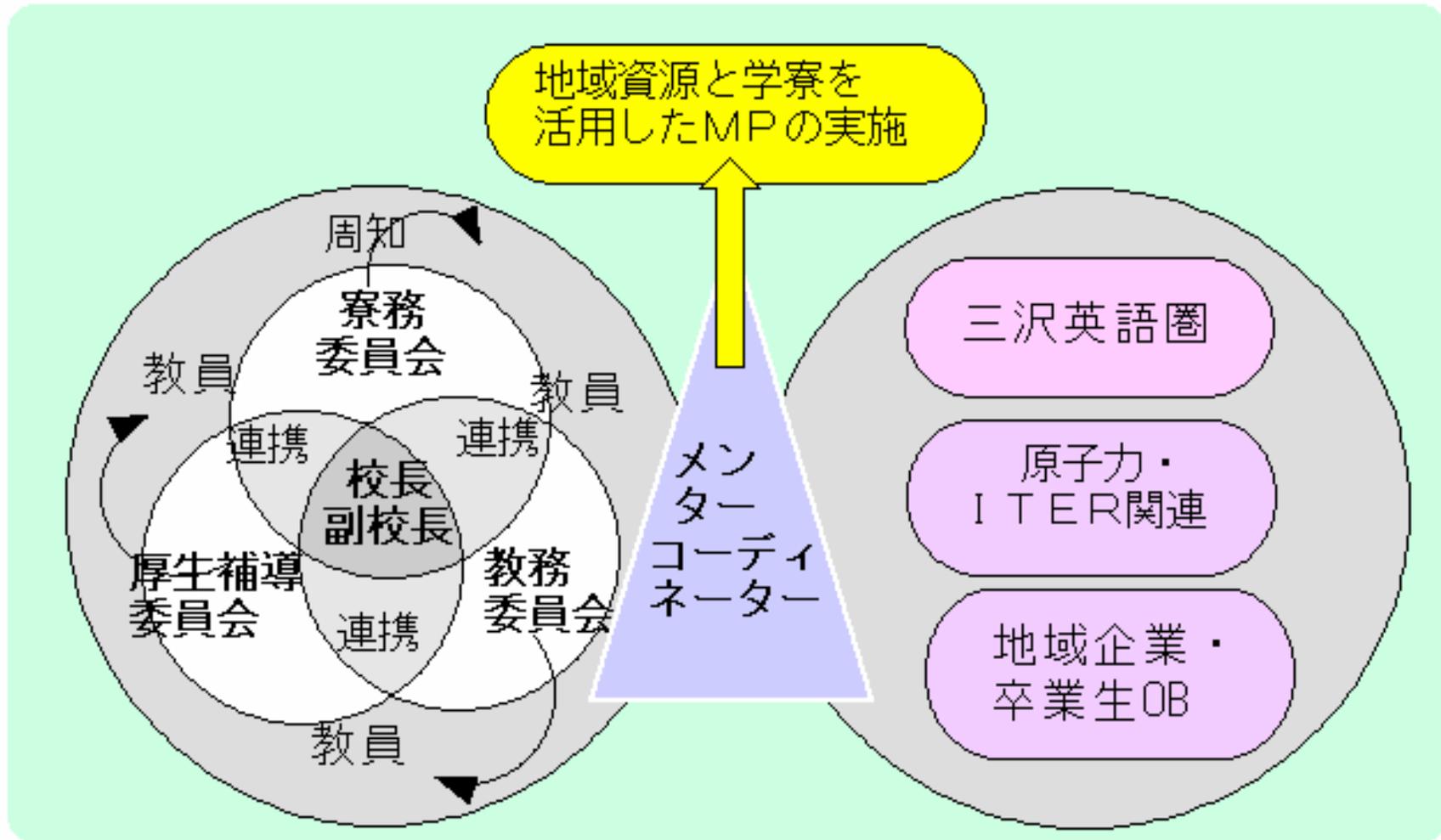
センターは、核融合機関法人・自然科學研究となっており、科学研究所（岐阜県土岐市）と共同で運営される。開所式には、国や青森県、村などの関係者約六百人も参加した。核融合科学力機構と連携した学術的連携を図りたい考えを強調した。

研究所の本島修所長が「核融合エネルギーの研究には多くの大学や電子産業との連携が不可欠だ」とあいさつ。さらにITER関連研究、国際核融合エネルギー研究センターに連携される核融合センターを通じて、研究で連携を図りたい考えを強調した。

# 新たな取組の実施計画・将来性

平成 1 9 年度	<p>寮母(夜間看護師)の常駐化</p> <p>学寮への保健室設置</p> <p>講習会等への参加による学生支援・指導能力の向上</p> <p>コンテスト参加クラブへの物的・財的な支援</p> <p>三沢ベースの学校との親善試合</p> <p>外国文化を知る</p> <p>英語力の向上</p>	<p>平成 2 0 年度</p> <p>環境・エネルギーに関する講習会の開催</p> <p>学寮内に地域社会と交流するスペースの設置</p> <p>外国人学生への学習支援と交流</p> <p>学習環境の整備:自習するスペースの拡大</p> <p>卒業生との交流</p> <p>技術の伝承による交流</p>
--------------------	---	--

# 本プログラムの実施組織



## 南八甲田連峰



地域資源と学寮を活用した人間力の育成

八戸工業高等専門学校